

六甲国際ゴルフ倶楽部開場を祝して

”石油”に端を発した物価高騰、引き続く未曾有の不況下にありながら六甲国際コースは当初の諸計画をいささかも変更することなく、その全工事を完成、この度、めでたく仮オープンされましたことは会員の皆様のお喜びは勿論、設計者としての私にとりましてもの上もない喜びで、本誌上をかりまして心からお礼を申し上げます。

ゴルフ場作りは本来誠に楽しい作業であります。が、反面大きなリスクも存在致します。わが六甲国際コースは、社長の勇気ある決断に依り万事計画通り進行致しました。数拾万本に及ぶ大小の植樹一つを取り上げても、このことの裏づけとなることでしょう。

このようにして誠に雄大で景観と変化に富んだ36Hが完成致したのでありますが、今後のコース整備について申し述べて置きますと、メンバーのゴルフ技術の向上に合わせて、ハザードの増設(バンカー及び人工池等)、樹木に依るコースのセパレートとプレー難度の増進等々。六甲国際コースをして名実共に格調高いものとなるよう、私も今後は会員の一人としてアドバイスして参りたい思っています。

仮オープンに当り健全で高邁なる倶楽部運営と、メンバーの皆様が日々このコースのバーローテーションに挑戦し、ゴルフを楽しみ且つ倶楽部を愛し、益々ご発展あらん事を期待致します。

コース設計者:加藤福一